

# 第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成27年10月29日(木) 公開授業Ⅱ

児 童 5年2組 男子 17名 女子 17名 計34名

指導者 大内 智子

## 1 単元名 自分の生き方を考える人物紹介リーフレットを紹介し合おう

中核教材：「百年後のふるさとを守る」

補助教材：「手塚治虫」「樋口一葉」他

## 2 単元について

### (1) 教材について

本単元では、「C 読むこと」の指導事項オ「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。」及び、指導事項カ「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」について主に扱い、主となる目標を「伝記を読んで、自分の考えを広げたり深めたりするために、描かれている人物の生き方や考え方を自分と関わらせながら読み、自分の考えをまとめ、表現することができる。」と設定した。

主教材「百年後のふるさとを守る」は、児童が初めて教材で出会う伝記である。伝記の特色が分かりやすい文章（事実の説明、物語的説明、筆者の考え）であり、伝記の読み方を理解し、自分と関わらせて生き方を考えるには適した教材である。

第5学年で伝記を読み、自分の生き方について考えることは、第6学年で伝記に描かれた人物に対して感想をもち、その人物の作品をより深く味わうことにつながり、中学校でのものの見方や考え方を広げる読みの力につながっていく。

### (2) 児童について

1学期の物語「なまえつけてよ」の学習では、登場人物の心情の変化を読み、感想を書いている。また、説明的文章「生き物は円柱形」の学習では、要旨をまとめ、筆者の考えに対する自分の考えをまとめてきている。しかし、自分の考えを話したり書いたりすることや、主体的に自分の考えを表現しようとする児童は限られている。児童は、この単元で初めて伝記の学習をする。描かれた人物の行動や考え方を、自分の経験や考え方と関わらせながら読み、自分の生き方について考えをまとめる力や、考えの交流を通して、考えを広げたり深めたりする力を高めていきたい。

### (3) 指導にあたって

本単元では、「伝記を読んで、自分の考えを広げたり深めたりするために、描かれている人物の生き方や考え方を自分と関わらせながら読み、自分の考えをまとめ、表現することができる力」を身に付けるため、「自分の生き方を考える人物紹介リーフレットを紹介し合おう」という言語活動を位置付ける。人物紹介リーフレットには、「人物の年表・業績」「心を動かされたエピソード」「自分の生き方についての考え」を書くこととする。

単元の導入で、人物紹介リーフレットを提示し、リーフレットを作るために必要な読みについて、学習計画を立てて見通しをもたせる。単元の導入時には、本時の学習の位置付けについて確認し、見通しをもたせる。第三次では、第二次での学びを個人の伝記の読みへとつなげ、伝記を読むことによって自分の生き方を考えることができた良さを振り返る。

## 3 単元の目標

- 伝記という文章や、そこに描かれた人物の人生に興味をもち、生き方に対する自分の考えをもとうとしている。 【国語への関心・意欲・態度】
- ◎ 伝記を読んで、自分の考えを広げたり深めたりするために、描かれている人物の生き方や考え方を自分と関わらせながら読み、自分の考えをまとめ、表現することができる。 【読むこと】
- 伝記の構成を理解することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

4 指導計画（自分の生き方を考える人物紹介リーフレットを紹介し合おう 7時間扱い 本時5/7）

次	時間	学習活動
一	1	人物紹介リーフレットを提示し、単元の見通しをもつ。単元計画を立てる。
二	1	伝記の特色を知り、教材文の文章構成を確かめ、「儀兵衛」の業績をまとめる。
	1	教材文を読み、心を動かされたエピソード・言葉をまとめる。
	1	筆者が考える「儀兵衛」の業績と意味を確認し、人物像を考える。
	1	「儀兵衛」の生き方について、自分の考えをもち、交流する。(本時)
三	1	自分が選んだ「伝記」の人物紹介リーフレットを書く。
	1	人物紹介リーフレットを紹介し合う。単元を振り返る。

5 本時の指導について

(1) 目標

「儀兵衛」の生き方について、自分と関わらせながら考えをもつことができる。

(2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
読む能力	「儀兵衛」の生き方のすごいと感じる行動や考え方と、自分の生活や体験などを関わらせて、150字程度で自分の考えを書いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えの書き方の例を与える。</li> <li>・自分と関わらせる観点を提示する。</li> </ul>

(3) 指導の構想

授業の始めに学習の流れを提示し、儀兵衛に心を動かされたことと自分とを関わらせながら、自分の考えを書くというゴールへの流れを見通す。終末では、自分の考えを書くために自分が使った方法について振り返り、振り返りカードに3文以上でまとめ、学習で付けた力を実感できるようにする。

(4) 展開

段階	学習活動	形態	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点(方法) ☆見通す・振り返る活動
導入 5分	1. 前時の学習を想起する。	全	☆前時の振り返りを読むことで、学びを振り返る。 ☆単元計画の何時間目にいるのか確かめることで単元のゴールに向かう見通しをもつ。
	2. 本時の課題を把握する。	全	
「儀兵衛」の生き方に対する自分の考えを、自分と関わらせながら150字程度でまとめよう。			
展開 35分	3. 課題解決の見通しをもつ。	全	☆「考えを書く観点を確かめ、グループで交流する→自分の考えを書く→ペア発表→全体交流→振り返り」という学習の流れを確認する。
	4. 課題を解決する。	個 グル ープ	○「人物像」「心を動かされたエピソード・言葉」「自分と関わらせて考えたこと」という観点で書くことを考える。
	(1) 書く観点をメモし、グループで交流する。 (2) 自分の考えを書く。		☆3つの観点が書けているかをグループで交流することで、自分の考えを書く見通しをもてるようにする。 ○自分と関わらせるための観点を例示しておく。 「もし自分だったら」「体験」「○○と比べて(知識)」
	(3) ペアで発表する。	個	●【読むこと】 「儀兵衛」の生き方と自分の経験などの共通点・相違点を見つけ、150字程度で自分の考えを書いている。(学習プリント)
(4) 学級全体で交流する。	ペア 全	○友だちの考えを聞く際には、自分の考えとの共通点や相違点を探しながら交流させる。	
終末 5分	5. 本時の振り返りをする。	個	☆本時の活動を振り返り、自分の学びの評価を行う。
	今日は、儀兵衛の生き方に対する自分の考えを書くことができた。儀兵衛の行動を自分だったらどうかと考えることで、自分と関わらせることができた。次は、自分の選んだ伝記の人物の生き方を、リーフレットにまとめたい。		
	6. 次の時間の見通しをもつ。		○自分が選んだ伝記の人物によるリーフレットを書くことを確かめる。